

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準を守っています。パーティションを活用して個々のスペースを確保し子どもが制作活動などに集中できるよう工夫しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			季節のイベントや外出活動など状況に応じて職員を増員し適切に配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	大規模なバリアフリー化は難しいので人的介助で対応しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日のミーティングや職員会議で職員全体で話し合い、職員一人一人が業務改善に参画しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの集計後、職員会議を開き保護者の意向について話し合い、保護者との面談や連絡帳のやり取りなどでご意見を頂いた際は、改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者委員会は行っていません。今後は行って評価をして頂き業務改善に努めます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修は年間計画を作成し実施しています。また、事業所のその時の状況に合わせて必要な研修は随時行い、職員の資質向上を図っています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			普段から子どもの様子を共有しています。また職員間でケース会議を行い保護者との面談や、支援者会議での情報をもとに放課後等デイサービス計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化したアセスメントシートを使用していますが必要に応じて随時シートを改定しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月一回の職員会議や、毎日のミーティングで、個別支援計画書を元にししながらチームで活動プログラムの計画を立てています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節行事を入れながら、年間・月間ごとに予定を立て、その時の子どもの様子に合わせて職員全体で話し合い工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			子ども達の「できること」が増えるよう平日、学校休業日とで課題を設定して支援しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ケース会議を行いながら、子どもの状況を職員同士で共有し、個別活動だけでなく、集団活動を組み合わせた放課後等デイサービス計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日必ず送迎前にミーティングを行い、役割分担や支援について確認をしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日あった良かった事や気になったことを職員間で共有し、話し合いをしています。また振り返りを記録し、お休みの職員とも共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別日誌と振り返りを記録し、気になった事をその都度、話し合い、改善するようにしています。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一回の経過の評価、年度末の評価を行い、必要があればその都度見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			子どもが好む遊びの提供と、リラックスできる空間の提供に努めています。また、自立に向けた活動だけでなく創作活動も行っています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			事業内でケース会議を行い子どもの状況を精査し、児童発達支援管理責任者が出席しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			日々、学校との情報共有、連絡調整を行っています。又、学校説明会があった際には参加し対応しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアが必要な子どもの受け入れは行っていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			子どもがそれまで利用した事業所と情報が共有ができるよう努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			見学の受け入れや電話などの問い合わせの際、支援内容等を提供しています。また関係者会議がある際には出席しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	見学の受け入れを行っています。今後、助言や研修の機会があれば受けていきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在は放課後児童クラブの子ども達との交流の機会はないのですが近所の公園にお出かけに行くと近所の子ども達やおじいちゃん・おばあちゃんとの交流があります。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	今後、機会があれば前向きに検討していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の連絡帳や送迎の際にその都度、子どもの状況を積極的に伝えることを心がけています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	研修の機会を設け、支援を行えるように、整えます。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			見学の際や契約の際に運営規定や支援内容、利用者負担について丁寧な説明を心掛けています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			電話や面談、連絡帳や日々の送迎時などに保護者の相談に常に応じ助言を行っています。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			コロナ禍でできなかった保護者会をようやく再開することができました。

非常時等の対応	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情窓口で苦情受付書を設け、苦情解決マニュアルに沿いつつ、職員間でも苦情内容について協議し迅速かつ、適切な対応をしています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月一回のお便りの発行等で保護者に発信しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			法人の、個人情報保護規定を遵守し、対応しています。個人情報は鍵のかかる場所に保管しています。また建物に機械警備を設置しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子ども一人一人に寄り添い、対応を考え、意思の疎通や、情報伝達のための配慮をしています。保護者との情報伝達の際は、複数の職員で確認をし、情報伝達をしています。面談や送迎時に大切なことは直接話し、大切なものは手渡ししています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			感染症防止対策の為、外部の人を子ども達のいる室内に入れる事は現在は控えていますが地域との繋がりを大切にしたいので近所のお祭りに出店したり子ども食堂や親子広場を開催したりしています。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			保護者懇談会の際やお便りを通して保護者に周知しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			災害時を想定した避難訓練を定期的に子どもと共にしています。保護者から子どもが食べられる備蓄をお預かりし管理しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し、年間研修計画を作成し年2回以上の研修を行っています。職員は虐待防止セルフチェックリストを書いて事例等を考察しながら虐待防止について認識を深めています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束適正委員会を設置し、年間計画を作成したうえ年2回の研修を行っています。保護者に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画書に記載しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			年度初め毎に保護者からアンケートを頂き、該当の子供については指示書を頂いています。食物アレルギーがある子どもの該当する食物を完全に除去しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所内でヒヤリハット事例を、誰でも記入、閲覧できるように保管しています。また毎月、法人内の会議で他事業所とヒヤリハット事例と事故事例を共有しています。